

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会ニュース

発行日：平成 27 年 10 月 30 日

発行：検討委員会事務局

第 6 回検討委員会 開催

☆平成 27 年 10 月 14 日（水）午後 7 時から

大正地区センター 第 1 会議室



1 はじめに

◇「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会は平成 25 年 5 月から休会していましたが、今年度、俣野小学校の一般学級の児童数が 120 人を下回ったため、検討委員会を再開しました。

第 6 回検討委員会では、両校の学校統合に向けたこれまでの検討経過と、休会中の学校の状況について、事務局・校長先生から説明が行われました。また、統合校の使用校舎・通学区域を検討するため、両校の施設・通学区域の状況について事務局から説明を行い、使用校舎・通学区域についての事務局の案を提示しました。

○ 統合校の校舎・通学区域は、次の事務局の案を基に検討を進めることが決まりました。

<統合校が使用する校舎>

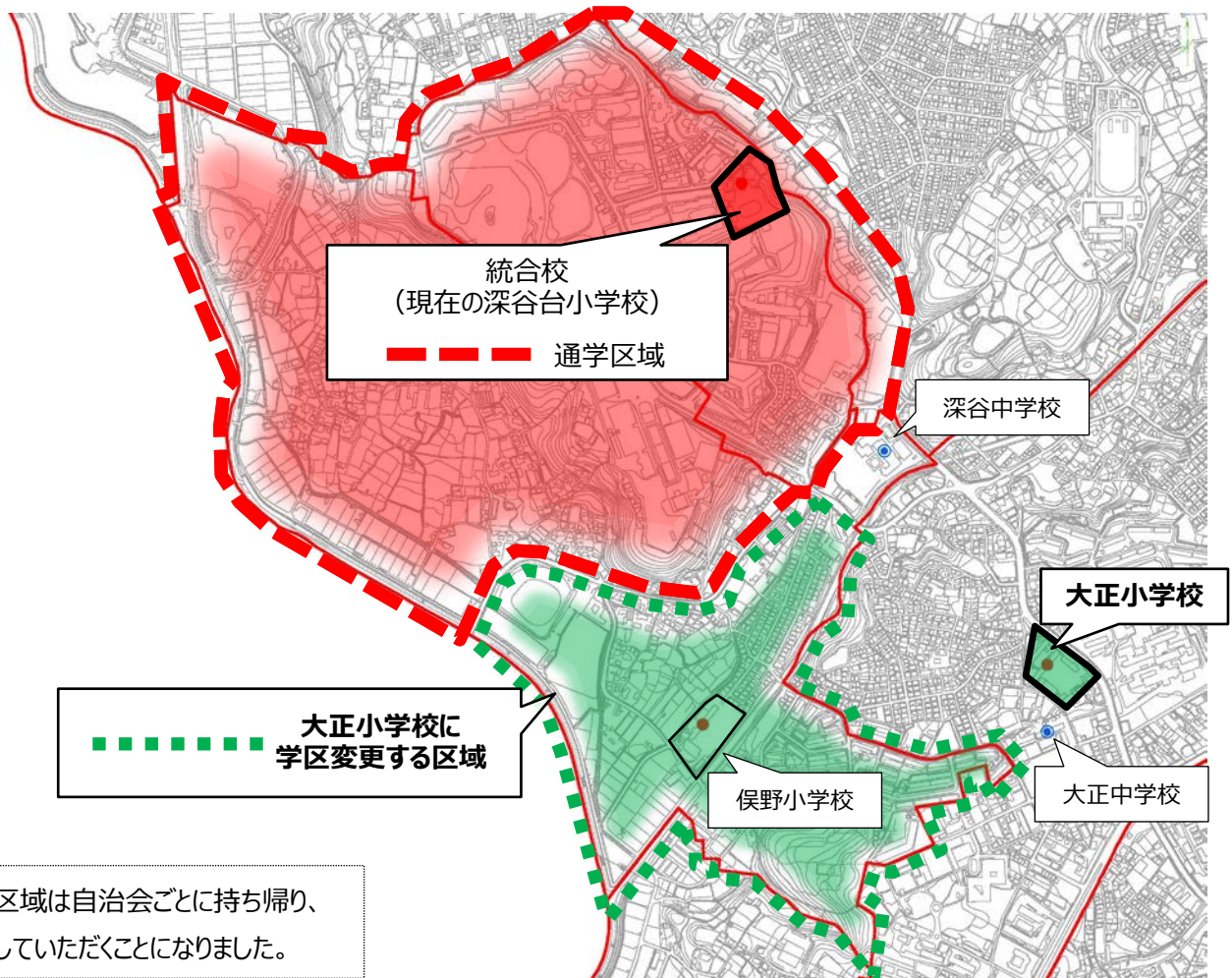
現在の深谷台小学校

<統合校の通学区域>

現在の深谷台小学校の通学区域、深谷小学校の通学区域のうち環状 4 号線の西側、俣野町のうち 403 号線の西側

<大正小学校に学区変更を行う区域・自治会>

深谷団地自治会、戸塚芙蓉ハイツ自治会、ファミリー戸塚自治会、俣野ネオポリス自治会、俣野町のうち 403 号線の東側



2 検討委員の交代について

新しく就任した検討委員（敬称略）			
県ドリームハイツ自治会	鈴木 健之	戸塚芙蓉ハイツ自治会	佐藤 妙子
深谷町内会	川崎 俊弥	大正小学校 校長	福浦 秀一
レジェ戸塚深谷自治会	糸井 總司	深谷小学校 校長	荒井 健
ファミリー戸塚自治会	大島 信幸		

3 前回までの検討内容（事務局から説明）

日程	会議	主な内容
平成 24 年 10月 18日	第 1 回 検討委員会	○検討委員会の委員長・副委員長を決定しました。 ○検討委員会の運営方法を決定し、検討事項について確認しました。
11月 29日	第 2 回 検討委員会	○深谷台小学校と俣野小学校の小規模化の状況を示した詳細な推計値等をもとに、2 時間半以上に及ぶ熱心な議論が行われ、意見や質問が相次ぎました。
12月 20日	第 3 回 検討委員会	○適正規模化について、学区調整、統合を含めて議論を重ねた結果、将来的には統合が必要、またはやむを得ないとの前提で、今後の議論を進めることになりました。 ○学校ごとに小委員会を設けて、統合時期などの具体的な点を検討し、その結果を集約したうえで、検討委員会で議論することになりました。
平成 25 年 3月 28日	第 4 回 検討委員会	○俣野小学校の児童数が 120 人を下回ることが確定した場合、その翌々年度の 4 月に深谷台小学校と俣野小学校の学校統合を実施することになりました。 ○統合校の通学区域は、周辺校の通学区域を含めて見直しを行うことを確認しました。
5月 16日	第 5 回 検討委員会	○俣野小学校の児童数が 120 人を下回るまで、検討委員会を休会することになりました。

4 両校の施設状況について（事務局から説明）

		深谷台小		俣野小	
敷地面積		11,495 m ²	—	—	11,418 m ²
構造		鉄筋コンクリート造	—	—	鉄筋コンクリート造
階数		4 階	—	—	4 階
建築年度 ※1		昭和 47 年度（43 年目）		○	昭和 50 年度（40 年目）
校舎面積		6,684 m ²	○		5,097 m ²
体育館面積		563 m ²		○	667 m ²
校庭面積		3,848 m ²	○		3,485 m ²
保有 教室	普通教室 ※2	19 教室	○		18 教室
	個別支援	2 教室	—	—	2 教室
	特別教室	6 教室 ※3	—	—	6 教室 ※3
耐震		調査及び補強工事完了 (H10、H16 に耐震補強実施)	—	—	調査及び補強工事完了 (H9、H14 に耐震補強実施)
その他		・地域防災拠点	○		・地域防災拠点 ・浸水のおそれのある区域に該当 ※4
		○の数	4	2	

※1 校舎の建物のうち、最も古い建物の建築年度。

※2 普通教室には、クラスルーム以外に学習室、はまっ子、PTA 会議室、地域交流室等を含む。

※3 特別教室の 6 教室は理科室、音楽室、家庭科室、図画工作室、図書室、視聴覚室を示す。

※4 出典：戸塚区洪水ハザードマップ

5 統合校の校舎・通学区域について（事務局の案）

事務局から次のとおり案を提示し、この案を基に今後の検討を進めることが決まりました。

<統合校が使用する校舎>

- 深谷台小学校の校舎を使用することが望ましいと考えます。

<理由>

- ① 深谷台小学校の方が施設面で優位である。
- ② 深谷台小に子どもが多く在籍している。
- ③ 深谷台小の通学区域内で住宅が増えており子どもの増加が見込まれる。

<統合校の通学区域>

- 子どもの通学距離・安全を考え、統合校の通学区域は次のとおりとすることが望ましいと考えます。

現在の深谷台小学校の通学区域、深谷小学校の通学区域のうち環状4号線の西側、俣野町のうち403号線の西側

<大正小学校に学区変更する区域>

- 子どもの通学距離・安全を考え、次の自治会・区域は大正小学校の通学区域に変更することが望ましいと考えます。

深谷団地自治会、戸塚芙蓉ハイツ自治会、ファミリー戸塚自治会、俣野ネオポリス自治会、俣野町のうち403号線の東側

※俣野町からは2つの学校に通学することになるため、地域の方のご意見を伺う機会をいただきたい旨を事務局から説明しました。また、そのほかの地域についても必要があれば事務局から説明に伺うので、それぞれの地域での確認をお願いしました。

6 検討委員会での主な質問・発言（★委員 →事務局）

※同じ数字は同じ委員からの発言

- ★1 俣野町内会の有志の方を発起人として、深谷台小学校と俣野小学校の学校統合に反対する嘆願書を教育長宛てに提出しました。また、これとは一部異なる嘆願書を小松委員長宛てに提出しました。俣野町内会では、引き続き、俣野小学校を存続させたいと思う世帯が多くあります。
これまでの検討委員会では、「俣野小学校の児童数が120人を下回った翌々年度に深谷台小学校との学校統合を実施する」ということを決定していますが、これを白紙に戻すことはできないでしょうか。
- ★2 俣野小学校の保護者には、学校統合に反対する方もいます。学校統合については、すでに検討委員会で決定していますが、考え直すことはできないでしょうか。
- ★3 俣野小学校は小規模校ですが、地域・保護者の方のご協力や教職員の頑張りにより良い面がたくさんあります。しかし、もう少し人数が多ければ、子どもにさらに良い経験をさせてあげられるのに、と思うことがあります。
- ★4 反対するお気持ちはわかりますが、「120人を下回ったら学校統合を実施する」ことを前提に、休会することを決めたいです。検討委員会は、学校統合に向けて前に進まなければならないと思います。
- ★5 前回までに決まったことを前提に会議を進めるべきです。子どものことを考えて話し合いを進めましょう。
→ 本日は「統合校の校舎・通学区域について」を議事としてしていますので、議事に入らせていただきたいと思っています。
- ★2 学校統合を実施することを確認してから時間が経過したからこそ、学校統合に反対しています。

- ★5 俣野小学校だけではなく、深谷台小学校の児童や保護者の方も不安に思っています。子どものことを考えて、これからどのようにしていくかを考えるべきではないでしょうか。
- ★2 深谷台小学校・俣野小学校の両校を存続させるという選択肢はないのでしょうか。
- 学校統合に反対のご意見をお持ちの方がいらっしゃいますが、検討委員会全体としてはいかがでしょうか。事務局としては、これまで合計 5 回の検討委員会で、子どものために、深谷台小学校と俣野小学校を学校統合することは決定していただいておりますので、議事に進んでいただきたいと思っております。
- ほかの地域でも学校統合を実施していますが、学校統合後のアンケートでは、「友達が増えた」、「学校統合をしてよかった」という意見を多くいただいております。現在、通学されている学校に愛着を持っていただいていることは大変ありがたく、地域の方のご協力や校長先生をはじめとした先生方の頑張りのおかげと感謝しております。
- しかし、教育委員会としては学校統合により小規模校の課題を解消する必要があると考えています。
- ★6 検討委員会を休会する際に、「120 人を下回ったら、学校統合に向けてすみやかに検討を進めること」を決定しているはずですが。
- ★7 120 人という人数は、俣野小学校側の小委員会で十分に検討して提案され、検討委員会全体で決めた人数です。ここで話が振り出しに戻ってしまうと、混乱を招くことになると思います。
- ★6 皆さんの意思で決めたことなので、統合に向けてどうするかを考えるべきだと思います。
- ★8 来年度の就学に向けて、就学通知が保護者の方に届く時期です。子どもの就学に向けて学校との相談が始まりますので、統合校が使用する校舎などが決まっていないと、保護者の方や子どもたちに不安を与えることになってしまいます。
- ★9 俣野小 40 周年行事に参加しましたが、小規模校の良さがとてもよく出ていました。それだけにこの学校統合を実施して、より良い教育環境となるよう地域と子どもたちのために努力しなければいけないと強く思いました。
- ★6 統合校の校舎が決まらなると影響を受ける人がたくさんいます。俣野小学校の児童数が 120 人を下回ったらすみやかに検討を進めるということは決まっているので、今日、決めるべきです。
- ★7 事務局から提示された案（統合校の校舎は深谷台小を使用すること。通学区域は 1 頁参照。）を進めていくべきではないでしょうか。そうしないと保護者も学校も困ると思います。
- （事務局案について多数決をとり、賛成多数となりました。）
- ★10 では、事務局案を基に検討することに賛成の方が多ということで、これを基本として今後の検討を進めていきたいと思っております。
- 第 7 回検討委員会は、11 月末を目途に委員長と調整しています。
- ★8 来年度の就学に向けて相談が始まりますので、できるだけ次回の日程を早めていただくよう検討していただければと思います。

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会では、皆様からのご意見を受け付けております。FAX か E メールで、事務局（学校計画課）までご連絡ください。

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会事務局（学校計画課）
電話：045-671-3252 FAX：045-651-1417 Eメール：ky-totsuka@city.yokohama.jp

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はインターネットでも見ることができます。

「深谷台小学校・俣野小学校」通学区域と学校規模の適正化検討委員会

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakku/shoukibo/>

横浜市立小・中学校の通学区域制度及び学校規模に関する基本方針

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/kyoiku-info/gakku-houshin.html>

